

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4 年 3月 21日

事業所名 パステル②

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7	1	0	・各活動フロアー (学習、活動、個室) のスペースが確保 され状況に応じて 活用 ・コロナ感染状況に より変化あり	コロナの感染対策や利用者の特性に応じてレイ アウトの工夫を行い環境の設定の工夫を行う
	2	職員の配置数は適切である	8	0	0	・専門職を配置し多 様なニーズに対応	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	8	0	0	・怪我をしないよう にレイアウトしてい る	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目 標設定と振り返り)に、広く職員が参画してい る	6	1	1	・日誌の活用や職 朝に本日の役割や 利用者の特性に応 じた振り返りを行う	・会議にてPDCAサイクルが活用できる取り組み を図る。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげている	8	0	0	・送迎時や面談な どを活用し意向を 把握している	・保護者評価表を参照し、改善点など話し合う機 会を設け業務改善に繋げる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	8	0	0		・ホームページにて公開する。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	8	0	0	・苦情に関しては第 三者委員会を設置	・外部評価は行っていないので、今後検討してい く。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保している	4	1	3	・オンラインで受け られる研修は受講し ている。	・コロナの影響もあり、研修機会が少なくなってる が、受講した際は報告書を閲覧。
適切な 支援	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	8	0	0	・エイブル活用や保 護者、各関係者よ り、ニーズ、課題な どに応じて作成して いる	・契約時に保護者様からニーズや本人の状態、 各関係者から情報共有などを伺っている。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するため に、標準化されたアセスメントツールを使用し ている	8	0	0	・絵カード、写真な ど視覚でわかりや すく説明、工夫して いる	・アセスメントツールなど個別に合ったツールの情 報共有(個人日誌に綴る)
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	0	0	・固定化されないよ うに各班に分け、 提案、相談体制つ くり ・ST、OTなど各自 プログラム月の予 定作成	・立案を検討できる時間の確保や活動の場の提 供に努める。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	8	0	0	・季節に合わせた 行事を取り入れる 工夫	・個別に自立課題を設定するよう努める。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7	0	1	・休日は、外出支援 等を取り組み、身 体的運動、気分転 換を図る。	・自立課題⇒ニーズや専門職の意見も取り入れ ながら検討
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	8	0	0	・本人の状態に合 わせた活動の提 供。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	8	0	0	・活動前に本日の活動の内容を申し送りし、役割分担が行われてる	・事前に支援内容や行事など、役割分担を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8	0	0	・活動前に本日の活動の内容を申し送りし、役割分担が行われてる	・事前に支援内容や行事など、役割分担を行っている。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8	0	0	・業務日誌や連絡帳に利用時の状況を記録	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	8	0	0	各関係者からの聞き取りやコロナで集まる事ができない場合は、zoom会議したり、必要に応じて随時会議を開催	・状況変化があった場合、随時、会議開催し対応する。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	8	0	0	・専門職や各関係者の意見も交えながら複数の活動内容を組み合わせ、支援を行っている	ガイドラインを把握しながら、当法人の特色を活用できるよう努める。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	8	0	0	・専門職(言語、作業療法士、看護師)が不参加の場合は、事前に聞き取り等を行い、書面にて会議報告している	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	8	0	0	・学校との会議参加及び連絡帳を活用し情報共有している。 ・必要に応じて電話連絡を行っている	・学校等との会議にて、共通理解が図られている。 ・緊急時には、電話連絡などの緊急時連絡網作成。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	8	0	0	zoom会議を活用し主治医と情報の共通理解、連携が図られてる	・個人情報に留意しながら情報の共有が必要。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	7	1	0	・モニタリングや就学前に会議を持ち調整	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	8	0	0	・相談支援事業所を主体として行っている	・保護者への心身状態、個人情報の取り扱いなどの説明をし移行支援事業所に繋げるように努める
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	7	1	0	・オンラインや電話などで連携や助言をもらっている。	・各種研修会への参加を検討しているが、コロナの影響の為、対面では参加できてない。Zoom活用に努める。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	3	コロナの影響の為、外部との交流は厳しい状況	・コロナの影響の為、対面では参加できてない。Zoom活用に努める。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	7	0	1	・自立支援協議会構成員ではあるが今年度はコロナの影響で実施していない	
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	0	1	・送迎時や連絡帳を活用。共通理解が図られる ・必要に応じて電話連絡もしている	・日頃から信頼関係を築き、情報共有できるよう努めている。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	1	・電話などで相談に対応	・今年度ペアレントプログラムの受託に向けて進めていたがコロナの影響で中止となった。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	0	0	・契約時に運営規定、契約書や個人負担金の説明を行う。	・要望や質問等がないか確認している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8	0	0	・児発管や専門職にて丁寧に対応	相談があった場合は、随時対応。また、内容に応じて専門職にて助言。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	2		・今年度の計画には保護者同士の集まれる機会を企画していたが、コロナの影響で行っていない。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	2	0	・意見箱設置 ・電話にてその都度対応	・相談があった場合は、随時対応。また、内容に応じて専門職にて助言。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	0	0	・パステルたより発行(月1回発行)	・会報発行し、日々の活動報告を行っている。
	35	個人情報に十分注意している	8	0	0	・保管棚に保管、会議で情報共有が必要な場合は、保護者に主旨説明し、了解得ている	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0	0	・本人が理解しやすいように、絵カード、写真、タブレットを選択する工夫をしている	・視覚的にも伝わるよう(写真、絵カード)活用するが、理解できてない事がある為、特性に応じた情報伝達配慮必要
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	1	3	・コロナの中でもできる活動を設定して行っている	・コロナ影響の為、対面にて地域交流実施できていないが、コロナ中でも交流が図れる活動設定に努める	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	7	1	0	・防犯マニュアル、感染症対応等作成されている ・看護師の助言で行う	・緊急マニュアルなど、職員や保護者が閲覧できる場所に提示する
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1	1		・避難計画を作成し災害に対応できるよう訓練を取り組む。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	2		・朝のミーティングで時間を設ける	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6	1	1	・契約時に保護者へ説明	・主治医、保護者への説明や同意を得て支援計画に記載する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	0	0	・アレルギーある方は、アレルギーリストを作成し保護者に確認。ファイルに綴り職員と共通理解している ・必要に児童に対しては主治医の指示書あり	アセスメントや保護者からの情報に基づきおやつ等を提供している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7	1	0	・案件が出たら朝礼で共有	